

平成26年度第1回島田市事業仕分け委員会議事要録

1 日時

平成26年8月1日（金） 午後7時から午後10時まで

2 場所

市役所本庁舎4階 第3委員会室

3 出席者

委員：松本委員、大石委員、原川委員、村田委員、小倉委員、伊藤委員、
朝比奈委員、樽林委員、鈴木委員、森委員、田中委員

事務局：牛尾企画部長、菊池企画課長補佐兼行政経営係長、岩本主査、望月主査

4 概要

1 あいさつ

2 委嘱状交付

3 自己紹介

4 役員選出

互選の結果、松本委員が委員長に、大石委員が副委員長に選出された。

5 事業仕分け概要説明

事務局説明

【質疑応答】

○委員 特定財源が入っているもの、補助金などで何年分はもらうと決まっているものなど、縛りがあり市の裁量で廃止できないものは含まれているか。

○事務局 法令等で義務付けがあるものについては、市単独の上乗せ分のみ対象とした。廃止しようと思えば廃止できるもののみ対象にしてある。

○委員 事業仕分け結果の取り扱いについて、その後の対応は公表されるのか。

○事務局 事業仕分けの結果、方針まで公表する。

6 対象事業選定

(1) 事務事業概要説明

事務局から事業仕分け対象事業の選定方法（各委員10事業に丸を付け、合計数の多い20事業を対象とする。）について提案。

【質疑応答】

- 委員 事業仕分けが初回であることも考えると、できるだけ多くの課が対象となったほうがいいのではと思うが、事務局の方法では特定の課に集中することもあるので、各課最低1つは選ぶのはどうか。
- 委員長 多くの課を対象にとの提案であったが、丸を付ける数と選び方について御意見は。
- 委員 10選択すると、極端な場合10事業しか選ばれないかもしれないので、選ぶ数を限定しない方がいいのではないかと。
- また、課のバランスについては結果を見て、偏っているのであれば、同数のものがあれば優先するというところでどうか。
- 委員 その案に賛成である。数は限定しないで上位から選ぶほうが良い。
- 委員 似たようなものがあるが、中身の違いが分からない。
- 委員長 例えば「コミュニティバス運行管理経費」「バス路線運行維持助成経費」とかが同じように分類できると思うので、1つのものと見て対象にするとのことか。
- 委員 スクールバス、コミュニティバスなどは、縦割りでなく、つながりで考えたほうが違った評価ができるのではないかと。
- 委員 この36事業から選択して、例えば、「コミュニティバス運行管理経費」「バス路線運行維持助成経費」「スクールバス運行経費」が関連して見えるが、まとめようとしないで、「コミュニティバス運行管理経費」が選ばれれば、「バス路線運行維持助成経費」「スクールバス運行経費」の議論ができるか検討したらどうか。
- 委員 最初に枠組みを決めるか、後から調整するかの話になる。
- 委員 最後に調整したらどうか。20事業の調整で21事業になったとしてもやむを得ないと思うが、20事業に限定するのか。
- 事務局 時間割的に20事業であるが、60分の中で関連の事業をやるのは良い。
- 委員長 関連についてはメモを取って最後に調整することにし、いくつ選ぶかはどうか。現在の案は、10、20、数を設けない、10から20である。
- 委員 資料2の3行目、重点的取組に丸印のある方が仕分け対象となる判断ということか。
- 事務局 総合計画において重点的取組という位置付けであるということ。
- 委員 これが対象と判断できる事業であれば、数は設けなくていいのではないかと。
- 委員長 進め方は、事務局に5件ずつ説明いただいて事業仕分けが必要かで判断して、関連性のあるものはくっつけていく。
- 委員 各課1つにはこだわらないということか。
- 委員長 課については最後に調整することで進める。

事務局から5事業ずつ説明。

【質疑応答】

- 委員 人件費の人工代の算出はどうなっているか。
- 事務局 統一単価で平成25年度決算の給与費、共済費など人件費関連すべての職員平均を採用している。
- 委員 廃止したい事業は対象事業に選ばないといけないか。
- 事務局 廃止だけでなく、継続したい事業についても、別なやり方があるかもしれないので、対象事業に選定する必要がある。
- 委員 FM事業の平成26年度予算に県支出金がないが、これは交付期間が終了したためか。
- 事務局 希望はしたが、付かなかつたと聞いている。
- 委員 災害時の情報提供手段との位置付けだが、ラジオはつけなければならないのか。災害時に自動的に電源が入るとかではないのか。
- 事務局 防災無線とは違うので、つける必要はある。

- 委員 商工会議所、商工会は島田市の産業に関係し、税収に係わるものであるなので、事業仕分けの対象に上がるのはおかしいのではないか。商工会の青年部は部員も増加し、若い方の意識が高くなっているので、ぜひとも事業を残してほしい。
- 委員 説明の中で商工会議所と商工会の統合・合併は、現段階では具体的に進んでいるのか、したいと思っているのか。
- 事務局 進んではない。
- 委員長 法律の問題もある。
- 委員 企業立地促進事業費補助金は予算を組む時に見込まれているのか。
- 事務局 その通りである。
- 委員 島田市の置かれている状況のレクチャーを受けた方がいいのではないか。財政状況、経済状態からこういう動きがあるということを知らないといけないのではないか。

- 委員 夏まつりの実行委員会は民間で構成されているのか。行政も含まれているのか。
- 事務局 行政も含まれている。
- 委員 島田市地域産業振興費補助金と小口資金利子補給事業は併用可能か。
- 事務局 融資を受けた上で、補助金を受けることも可能である。

- 委員 森林施業補助事業の補助対象は団体・企業とあるが、19団体なのか19企業なのか。
- 事務局 森林組合、木材関連事業者だと思う。正確には当日質問していただきたい。

- 委員 がんばる認定農業者支援事業は茶業者が多いのか。
- 事務局 その通りだと思う。
- 委員 茶振興事業は栽培する方、生産者が対象ではないのか。
- 事務局 事業については、当日確認していただきたい。
- 委員 仕分けについて、どういうことを考えていかなければいけないのか。
- 委員長 予算を組んで事業を実行するのは市、決定するのは議会や市長である。外部から必要かどうかの素朴な意見を出せば良い。
- 委員 年々増えているもの、ずっと一律のものについて、そもそもどういう根拠でそうになっているかを確認し、その先は信じるしかない。

(3) 20事業選定

投票の結果、以下の24事業が選ばれた。

1. 農家民宿等モデル事業、2. 中山間地域交流促進事業、3. 行政番組放送事業、4. 超短波放送難聴対策事業、7. コミュニティバス運行管理事業、8. バス路線運行維持助成経費、10. 放置自転車対策事業、12. 企業立地促進事業費補助金、13. 島田商工会議所補助金、14. 島田市商工会補助金、16. 島田産業まつり補助金、17. 島田夏まつり補助金、18. 島田市にぎわい商店街支援事業補助金、23. 勤労者住宅資金利子補給金、24. 勤労者教育資金利子補給金、25. 森林施業補助事業、27. がんばる認定農業者支援事業、28. 茶振興事業、29. 伊久身農産物加工体験施設経費、31. 観光振興事業、32. 島田市観光協会補助金、33. 田代の郷温泉管理運営経費、35. スクールバス運行経費、36. 公園管理事業

- 委員 36の公園管理事業だが、市の直営と指定管理のぼらの丘公園がある。指定管理は途中で変更可能か。
- 事務局 廃止となった場合、補償問題などになってくると思うので、すぐには無理ではあるが、次回の時に結果を受けてという考え方になる。

「3. 行政番組放送事業と4. 超短波放送難聴対策事業」、「7. コミュニティバス運行管理事業と8. バス路線運行維持助成経費と35. スクールバス運行経費」、「16. 島田産業まつり補助金と17. 島田夏まつり補助金」は合わせて実施する。

7 時間割・班編成

班分け及び事業の割振りは事務局で実施する。

8 今後の日程等

- ・9月初めに模擬の事業仕分けを実施する。

- ・事業仕分けの追加資料請求は8月20日（水）までに提出する。
- ・事業仕分け当日に傍聴者にアンケートを実施し、アンケート集計後の10月頃に開催して、次年度の運営方法の検討や事業仕分け結果を受けた方針の報告などを行う予定。

9 その他

当日の公開範囲は、マスコミのほか、インターネット中継も可能とする。